Model:D1001J

取扱説明書

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください
お読みになった後も、大切に保管してください。

歓迎のあいさつ！

親愛なる顧客,
このたびEONON D1001J 車載多機能DVDプレーヤーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本製品はAM/FMラジオチューナーを内蔵しています。また、USB端子、SD/MMCカードスロットも用意していますので、USBメモリ、SD/MMCカード内のメディアファイルも再生可能でございます。
さらに、フロントパネルにAUX AV入力端子を設けておりますので、簡単に外部音声/映像を入力できます。

お客様にご満足いただける最高の性能、品質を持つ製品を提供すること、私たちはこの気持ちをモットーに本製品を設計、開発、生産しました。今後数年間、本製品はお客様に優れたAV環境を提供できると信じています。

警告！

自動車走行時
• 走行時、ドライバーは本製品を視聴、操作しないでください。
• 車外の状況が聞こえる程度に本製品の音量を調節してください。

車内
• 製品本体及び部品を濡らさないようご注意ください。ショート、その他事故の原因になります。

停車時
• 直射日光下に長時間停車したため車内温度が高くなった場合は、車内温度を下げてから本機器を使用してください。

使用電源
• 本製品はDC12Vの電源に対応して設計されています。－極は正確にアースしてください。

内部保護
• CD/DVD等ディスク以外は本製品に挿入しないでください。不適当な使い方は故障、内部損壊の原因になります。

本製品はクラス1レーザー製品です。

内部使用のレーザービームが外部に漏れないよう、本製品は安全装置を備えています。
お客様の視力を損なう恐れがございますので、本製品を修理、分解しないでください。

本製品を分解、損壊した場合は、肉眼で視認できないレーザーが人体に被害を及ぼす可能性がございます。分解、修理等は行わないでください。

すべての包装、包装材料はリサイクルできます。

本製品をご利用しなくなった場合は、適切に本製品を処分してください。
電気製品の廃棄方法は家庭用ごみの廃棄方法と異なります。
お住まいの地域の所管部署または販売店にご相談ください。

目次

ご注意事項

本体

a. 安全な運転及び交通法規遵守のため、運転者は走行中に本製品の鑑賞、操作は行わないでください。

b. 製品の正常な動作及び安全のため、配線や取付け（取外し）は専門技術者に依頼してください。製品の損壊、事故の恐れがありますので、改造、修理は行わないでください。

c. 本製品を湿気の強い場所に設置しないでください。ショートによる感電、損壊、火災が発生する恐れがあります。

d. 本製品の液晶画面は精密機器です。強い衝撃を与えないで下さい。

e. 本製品の内部にコイン等金属物を挿入しないでください。

f. 液晶画面が汚れたときは、製品の電源を切ってから柔らかい布で拭き取ってください。なお、シンナー等化学溶剤は使用しないでください。

g. 日光が直射する場所に長時間置かないでください。

h. 電源が点いているときに外付けメディア、配線及び付属品等を取り外さないで下さい。本体、付属品が故障する恐れがあります。

i. 本製品を適度の音量でお楽しみください。極端に大きい音量は聴覚の健康に影響を及ぼすおそれがあります。また、車外の音声が聞き取りづらくなるため、運転に危険を及ぼす可能性があります。

j. 取扱い説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。説明書は必ず保管してください。

なお、お知らせすることなく、製品の仕様、設計を変更することがあります。

ディスク

a. 直径が12mm未満(12mmが含まれない)または不規則な形状のディスクは使用しないでください。

b. 汚れ、傷がついているディスク、歪んでいるディスクは使用しないで下さい。

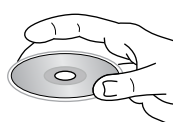
c. ディスクにラベル等を貼らないで下さい。

d. ディスクを曲げないで下さい。

e. 使用しないときは、ディスクを機器の中に入れたままにしないでください。

f. 下記の場所にディスクを放置しないでください。
   1. 日光が直射する場所。
   2. 湿気が強い場所、汚れている場所。
   3. 熱源に近い場所。
   4. 座席、速度計等機器の上。

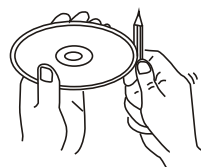
ディスクのお手入れ

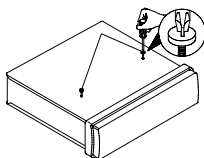
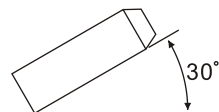
ディスクの表が汚いなら、アルコール付きの柔らかい布で表を拭いてください。
ディスクが損壊する恐れがございますので、シンナー等化学溶剤は使用しないでください。

上向きに持って下さい

持つとき、ディスクの表面に触れないでください

ディスクの中心から外の方向へ放射線状に拭いてください

円周状に拭いてはいけません

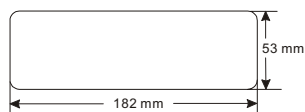
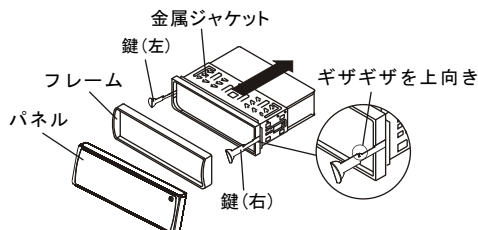
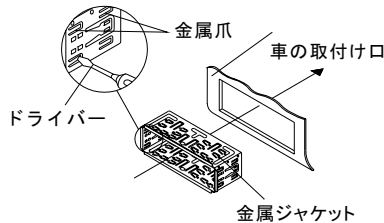
購入したばかりのディスクの縁に微細な出っ張りが残っている場合があります。
そのままだと正常に再生できない可能性がありますので、下図のようにボールペンなどで軽く削ってください。

取り付け

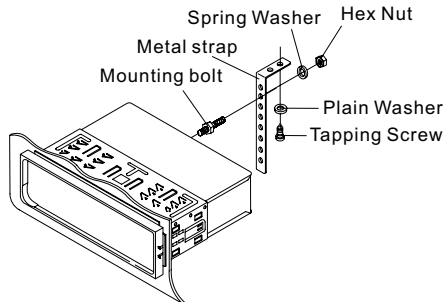
取り付けのご注意事項:
a. 作業前、バッテリーの－端子を外して下さい。製品上部の保護用ネジを外してください。

b.ドライバーの視野や運転を妨げる位置、同乗者に危険を及ぼす位置、熱源に間近な位置及び埃や振動が強い位置に設置しないでください。
c. 30° 以上傾斜している場所に取り付けた場合、本製品が正常に動作できない可能性があります。

d. 取付け用の配線及び部品は、本製品付属のものを使用してください。
e. 取付け時、車体の改修等の必要が生じた場合は、専門業者にご相談ください。
f. 取付けを完了する前に、配線が正確に接続しているかどうか確認してください。
機器の動作確認はその後に行ってください。

前方取付け/後方取付け

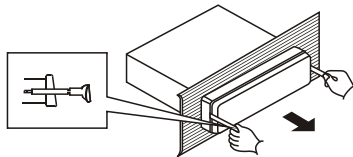
本製品は従来の自動車前方に取付けることができます。また、本体側面のネジ穴を利用して後方に設置することもできます。詳細は下記の取り付け方法をご参照ください。

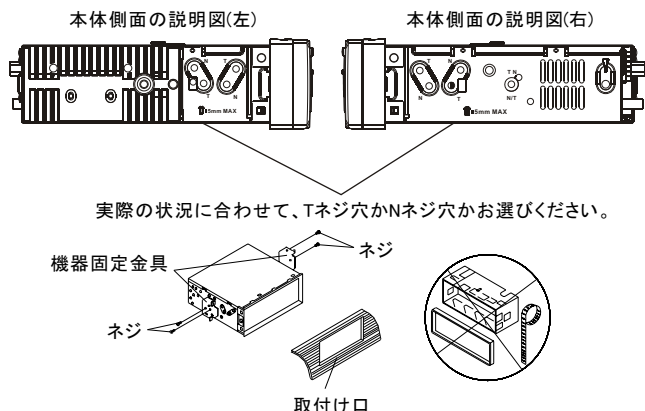
前方取付けの手順

本機器は、右図のような1DINサイズの場所に設置することができます。配線等の動作を確認してから、下記の順番で取付けしてください。

1. 自動車のエンジンを切ってから、バッテリーの－端子を外してください。
2. 電源ケーブル及びアンテナケーブルを外してください。
3. 本体パネルの ⏏ ボタンを押して、パネルは下げてから外してください。
4. フレームの上部を持って、フレームを外してください。
5. 付属の二つのキー、ギザギザ面を上向きにして本体左右の穴に挿してください。
それから、金属ジャケットを本体から外してください。

6. 金属ジャケットを自動車の取付け口に挿してください。金属ジャケット上に金属爪が開いている穴があるので、ドライバー等で爪を曲げて穴を塞いでください。金属ジャケットが本体をしっかり固定できるようになります。

7. 電源ケーブル、アンテナ等の配線を再度接続してください。配線等は加工しないでください。
8. しっかり固定されるまで、本体を金属ジャケットに挿入してください。
9. 本体をさらに固定するために、下図のように付属の固定金具で本体の背面を固定してください。六角形のナットとスプリングワッシャーで固定金具を本体背面のボルトに固定してください（必要に応じて、固定金具を折り曲げてもかまいません）。それから、付属のネジと平面ワッシャーで固定金具を取付け口の金属等に固定してください。

ご注意: ボルトを取付ける時、短い側を本体に取付けてください

10. バッテリーの－端子を接続して、フレームとパネルを装着してください。

本体の取外し

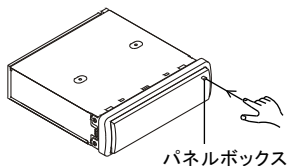
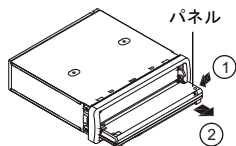
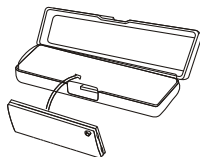
1. 自動車のエンジンを切ってから、バッテリーの－端子を外してください。
2. 電源ケーブルとアンテナケーブルを外してください。
3. 本体パネルの ⏏ ボタンを押して、パネルは下げてから外してください。
4. フレームの上部をもって、フレームを外してください。
5. 付属の二つのキー、ギザギザ面を上向きにして本体左右の穴に挿してください。それから、金属ジャケットから本体を引き出してください。

後方取付けの手順

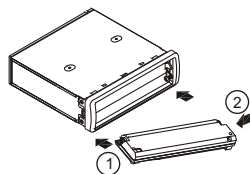
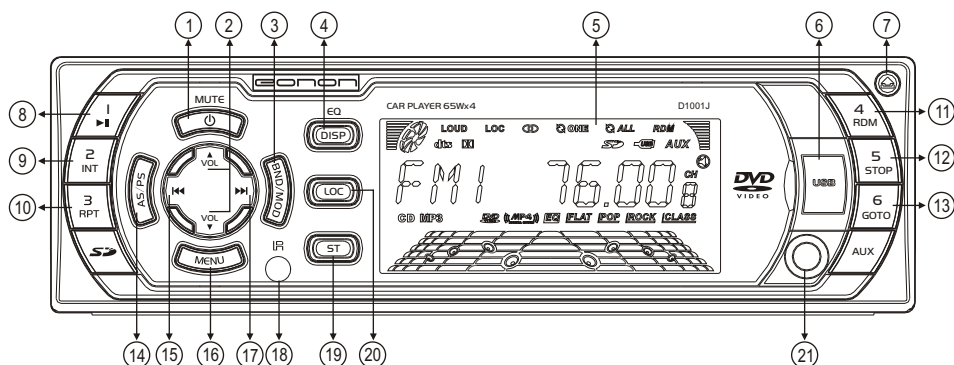
日産、トヨタの自動車の場合は、後方取付けをご利用ください。
トヨタ自動車の場合は、取付けに本体側面のTマークのネジ穴を使用してください。日産自動車の場合は、取付けに本体側面のNマークのネジ穴を使用してください。
本体を車内のオーディオ機器固定金具のネジ穴に合わせて、ネジ等で固定してください（弊社はオーディオ機器固定金具を提供していません。あらかじめ備え付けのものを使用するか、自動車の販売店に取り寄せください）。

ご注意:

後方取付けを利用する場合は、付属のフレーム、金属ジャケット、固定用金具は使用しません。

フロントパネルの取付け、取外し及び保管

取外し方法

1. 本体パネルの ⏏ ボタンを押して、パネルは下げてください。

2. パネルの右端を持って左側に押してください。パネル右側の金具を穴から取出したあと、パネルを外してください。

3. パネルを使用しない場合は、遺失、損害しないようパネルボックスに保管してください。

パネルを本体に取り付け

右図のように、パネル左端の穴を本体の突起に合わせてから、左側にパネルを押して、パネルの右側も本体に取付けてください。
最後、パネルを上げて本体に装着してください。

フロントパネルのボタン位置と機能説明

パネルが取り外してからの正面説明図

パネル機能説明:

(1) 電源(⏻)、ミュート(MUTE)
(2) 音量調整(VOL ▲/VOL ▼)
(3) 周波数切換え(BND);モード切換(MOD)
(4) 情報表示(DISP); イコライザ(EQ)
(5) 液晶ディスプレイ
(6) USB接続端子
(7) フロントパネル OPEN (⏏)
(8) ラジオ局1; 再生/一時停止 (▶II)
(9) ラジオ局2; プレビューボタン(INT)
(10) ラジオ局3; リピート再生(RPT)
(11) ラジオ局4; ランダム再生(RDM)
(12) ラジオ局5; ストップ(STOP)
(13) ラジオ局6; 選択再生(GOTO)
(14) ラジオ局自動登録/登録局スキャン(AS/PS)
(15) 周波数調節/前の曲/巻き戻し(⏮)
(16) メニュー(MENU)
(17) 周波数調節/次の曲/早送り(⏭)
(18) リモコン受信窓
(19) ST(STEREO/MONO) ボタン
(20) LOC(LOCAL/DX) ボタン
(21) 音声/映像入力端子(AUX)
(22) SD/MMCカードスロット
(23) ディスク挿入口
(24) ディスク挿入指示灯
(25) イジェクトボタン (⏏)
(26) LED指示灯
(27) リセットボタン(RESET)

リモコンのボタン位置と機能説明

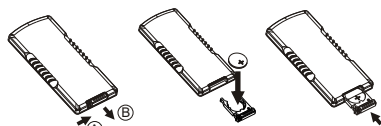
(1) 電源(⏻)
(2) 時計、再生情報表示(DISP);イコライザ(EQ)
(3) 選択リピート再生(A-B)
(4) リピート再生(RPT)
(5) ズーム(ZOOM)
(6) 移動方向ボタン(◀/▶,▲/▼)
(7) 決定(ENTER)
(8) DVDセットアップ(SETUP)
(9) 周波数調節/前の曲(⏮)
(10) 周波数調節/次の曲(⏭)
(11) タイトル(TITLE)PBC機能(PBC)
(12) 再生/一時停止(▶II)
(13) 記録済ラジオ局選局(1~6);数字(1~6)
(14) 数字 7
(15) 数字 8
(16) モード切換(MODE)
(17) 音声切換 /言語切換(AUDIO)
(18) 字幕切換(SUB-T)
(19) ミュート(MUTE)
(20) アングル切換(ANGLE)
(21) 音量調節(VOL+/-)
(22) メニュー(MENU)
(23) 早送り(▶▶)
(24) 巻き戻し(◀◀)
(25) 選択再生(GOTO);ラジオ局自動登録/登録局スキャン(AS/PS)
(26) 停止(■)
(27) プログラム再生(PROG);ローカル局/遠方局切換え(LO/DX)
(28) ランダム再生/ステレオ;モノラル切換
(29) 周波数切換/数字0
(30) 数字9

リモコンの使い方:

- 使用する前、リモコンの絶縁フィルムを外してください。
- 本体の受信窓に向けてリモコンを使用してください。有効距離は2メートル以内です。
- 本体の受信窓が直射日光に晒されているとき、リモコン操作できない可能性があります。場所を移動するか手で覆いながら使用してください。
- リモコンを本体の受信窓に向けるとき、角度の30° 以内に抑えてください。
- リモコンは小さくて軽い製品ですので、注意して扱ってください。不適当に使用すると、電池の消耗が激しくなり、感度が落ちる場合があります。

特に下記の項目にご注意ください:
－リモコンのキーを激しく叩いてはいけません。
－大変なくしやすいので、むやみに洋服のポケットに入れないでください。
－食品の近く、湿気や埃が強い場所に置かないでください。
－日光が直射する場所に置かないでください。

電池の取り換え

電池のタイプ:ボタン式のリチウム電池
1.下図のように、リモコンの背面を上向きにして、電池入れの溝の部分を親指でA方向に押してください。次に、人差指で電池入れをB方向に向かって取出してください。
2.同じ型の新しい電子の＋極を上向きにして、電池入れに入れてください。
3.矢印の方向に向かって電池入れを押して、リモコン内に固定してください。

基本操作

システムのリセット
1.配線を接続し、初めて本製品を使用するときは、まずリセットボタンで本体をリセットしてください。
2.フリーズ、画面の乱れ等、機器の動作に異常が発生した場合は、リセットしてください。
機器が正常な状態に戻ります。
ご注意: リセットボタンは小さいので、ボールペン等先端が鋭いもので押してください。

電源のオン/オフ
電源オフの状態で、フロントパネルのOPENとイジェクト以外の任意ボタンを押すと、電源がオンになります。また、リモコンのイジェクト以外のボタンを押す、ディスクをディスクスロットに挿入する等の行為でも電源が点きます。
電源オンの状態で、フロントパネルの電源 ⏻ を押し続けると電源が切れます。リモコンの電源 ⏻ ボタンを押しても電源を切ることができます。

音量調整
フロントパネルの音量調節VOL ▲ /VOL ▼及びリモコンのVOL+/−で音量を調節できます。

ミュートオン/オフ
フロントパネル及びリモコンのMUTEを押すとミュート状態になります。もう一度このボタンを押すとミュート状態が解除されます。

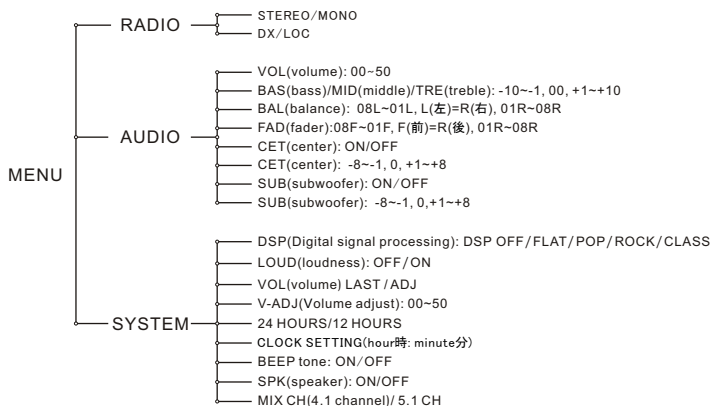
システムメニューセットアップ
− FMラジオのモードでフロントパネルまたはリモコンのMENUを押すと、メニュー画面に切り換わります。
⏭, ⏮ ボタンを押すと、下記のサブーメニュー画面に切り換ります。

“RADIO”->“AUDIO”->“SYSTEM”

− ディスクやUSBメモリ/SDカード内のファイルを再生している時、外部から音声/映像を入力している時、⏭, ⏮ ボタンを押すと、下記のサブーメニュー画面に切り換ります。

“AUDIO”->“SYSTEM”

上記の各メニュー画面で任意の項目を選択したあと、MENUを押すと選択した各項目のメニュー画面が表示されます。表示しているメニューを終了して上の階層に戻る場合は、AS/PSを押してください。

システムメニューの階層図

RADIO

STEREO/MONO
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、STEREO音声/MONO音声を選択できます。

DX/LOC
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、DXまたはLOC選択できます。
DX
遠方にあるラジオ局からの信号は微弱になっています。受信する場合は、DXを選択します。
LOC
現地にあるラジオ局を受信する場合は、LOCを選択します。

AUDIO

VOL
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、本製品の音量を調節できます。

BAS/MID/TRE
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、BAS（低音）/MID（中音）/TRE（高音）を調節できます。

BAL
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、左右スピーカーのバランスを調節できます。

FAD
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、前後スピーカーの減衰を調節できます。

CET ON/OFF
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、センタースピーカーのON/OFFを選択できます。

CET
センタースピーカーをONにしたあと、このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、センタースピーカーの音量を調節できます。

SUB ON/OFF
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、サブウーファー出力のON/OFFを選択できます。

SUB
サブウーファー出力をONにしたあと、このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、サブウーファー出力の音量を調節できます。

SYSTEM

DSP OFF/FLAT/POP/ROCK/CLASSIC
イコライザ選択機能。このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL▼またはリモコンのVOL+/-を押して、DSP OFF（イコライザなし）、FLAT（フラット）、POP（ポップ）、ROCK（ロック）、CLASSIC（クラシック）を選択できます。

LOUD ON/OFF
音源の音量が小さいとき、本機能で増幅できます。このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、増幅機能のON/OFFを選択できます。

VOL LAST/ADJ
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲/VOL ▼ またはリモコンのVOL+/-を押して、VOL LASTまたはVOL ADJを選択できます。
VOL LAST
VOL LASTを選択した場合は、本製品を停止した時点の音量が、次回電源を入れた時の音量になります。

VOL ADJ
VOL ADJを選択した場合は、本製品の電源を入れた時、予め設定した音量になります。

V－ADJ
VOL ADJを選択した場合、このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/−を押して、初期音量を設定できます。

24 HOURS/12 HOURS
時計の表示設定メニュー。このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/−を押して、24 HOURS(24時間表示)/12 HOURS(12時間表示)を選択できます。

CLOCK SETTING
時計調節機能。このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▼ またはリモコンのVOL−で、「時」を調節できます。フロントパネルの音量VOL ▲ またはリモコンのVOL+で、「分」を調節できます。

BEEP ON/OFF
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/−を押して、BEEP ONまたはBEEP OFFを選択できます。
BEEP ON
BEEP Onを選択すると、フロントパネルやリモコンのキーを操作すると、ピッピッという確認音が鳴ります。
BEEP OFF
BEEP OFFを選択すると、キー操作しても、確認音は鳴りません。

SPEAKER ON/OFF
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/−を押して、スピーカー出力のON/OFFを選択できます。
本製品は5.1サラウンド音声出力できます。5.1サラウンドの場合はRCA端子から出力することになりますが、直接スピーカーに接続して音声を出力することも可能です。ただし、スピーカーに直接出力する場合は5.1サラウンドは利用できません。
スピーカーに直接出力するときは、このメニューでスピーカー出力をONにします。
RCA端子から5.1サラウンドを出力する場合は、スピーカー出力をOFFにします。

MIX CH/5.1CH
このメニューで、フロントパネルの音量VOL ▲ /VOL ▼ またはリモコンのVOL+/−を押して、MIX CH(4.1CH)または5.1CHを選択できます。視聴するディスクまたは音楽ファイルが5.1サラウンドに対応している場合は、5.1CHを選択します。

<u>モード切換え</u>
フロントパネルのBND/MODまたはリモコンのMODEを押すと、下記の順番でモードを切換えることができます。

ラジオ→ DVD/CD(ディスクの挿入が必要)→ USB(USBメモリー等の接続が必要) →
SD/MMCカード(カード等の接続が必要) →外部音声/映像入力

<u>ESP電子振動防止機能</u>
本製品に電子振動防止機能が備えており、路面状態が悪い道路で走行しても、振動による視聴への影響を削減できます。なお、防止時間はメディアによって異なります。

DVDディスク:約5秒　CD/VCDディスク:約10秒　MP3/WMA:約150秒

<u>情報表示</u>
フロントパネルのDISP/EQを短く押すと、本製品の液晶画面に現在の情報が順番に表示されます。

ラジオモード:
周波数 →時計

DVD/CD、USB等メディアの再生モード
周波数 →時計 →現在の曲目/再生時間/曲の名前

<u>イコライザの設定</u>
フロントパネルのDISP/EQを長押しすると、イコライザを設定できます。
イコライザオフ →フラット →ポップ →ロック →クラシック

<u>電話呼出音のミュート</u>
本機器の電話ミュート配線と車載電話を接続すると、車載電話に電話がかかってきた時に呼出音が鳴らないようにすることができます。
1.電話がかかってきたとき、液晶画面に「TEL MUTE」が表示されて、再生中のメディアが一時停止します。
2.電話が切れたとき、液晶画面の「TEL MUTE」が消えて、メディアの再生が再開されます。

<u>再生位置記憶機能</u>
DVD/CDディスク、USB/SD/MMC等メディアを再生しているときに本機器の電源を切っても、再度電源を点けたときは前回停止位置からメディアの再生が始まります。また、再生中にラジオ等他のモードに切換えても、元もモードに戻れば前回停止位置からメディアの再生が始まります。

<u>ディスク挿入指示灯</u>
DVD/CD等のディスクを挿入するときに、指示ランプが点滅します。

<u>LED指示灯</u>
フロントパネルを本体から外しているときは、LED指示灯が点滅します。

ラジオの使い方

<u>ラジオモードの開始、終了</u>
フロントパネルのBND/MODまたはリモコンのMODEでラジオを選択すると、ラジオモードが開始します。

<u>周波数選択</u>
フロントパネルのBND/MODまたはリモコンのMODEを長押しすると、周波数を切換えることができます。 FM1 →FM2 →FM3 →MW1 →MW2 ※ MWは日本国内のAMに相当します。

<u>放送局自動サーチ</u>
フロントパネルまたはリモコンの ⏭ または ⏮ を短く押すと、液晶画面に「SEARCH」が表示されて、本機器は自動的に受信可能な放送局をサーチします。有効な放送局を見つけたときは自動的に聴取を開始します。

自動サーチを途中で中断したい場合は、再度フロントパネルまたはリモコンの ⏭ または ⏮ を押してください。

<u>手動サーチ</u>
フロントパネルまたはリモコンの ⏭ または ⏮ を長押しすると、液晶画面に「MANU SEEK」が表示されて、
手動サーチモードに切り換ります。このモードでフロントパネルまたはリモコンの ⏭ または ⏮ を押すと、手動で周波数を選択できます。手動サーチモードの状態で5秒間操作しないと、手動モードが終了します。

<u>お気に入り放送局の登録</u>
お気に入りの放送局の周波数を登録できます。登録後、フロントパネルまたはリモコンの1-6の数字キーだけで該当周波数を呼び出すことができます。

操作手順
例えば、FMの85.10MHzをFM1の1番に登録する場合。

1.FM1を選択します。
2.自動サーチまたは手動サーチで85.10MHzに合わせます。
3.数字キー「1」を長押しします。液晶画面に「1」が表示されれば、登録完了です。

ご注意:
既に同じキーで別の放送局を登録している場合は、古い登録は無効になります。

お気に入りに登録した放送局の呼出方法
1.ラジオモードでFM1、FM2、FM3、MW1、MW2のいずれかのブロックを選択します。
2.1-6の任意のボタンを押すと、該当ブロックの該当ボタンに割り当てられた放送局の放送が開始されます。
ご注意:
本製品では、FM1、FM2、FM3、MW1、MW2の各ブロックで、1ブロックにつき6局、合計30局をお気に入りに登録することができます。
リモコンの「7,8,9,0」のキーは登録に利用できません。

放送局自動登録機能
フロントパネルまたはリモコンのAS/PSを長押しすると、液晶画面に「STORING」が表示されます。
本製品は自動サーチを開始し、電波がもっとも強い放送局の情報をFM1、FM2、MW1等の各ブロックに自動登録して行きます。この機能を利用すると、以前手動でお気に入りに登録した放送局はすべて無効になります。

お気に入り放送局スキャン
フロントパネルまたはリモコンのAS/PSを短く押すと、登録しているFM18局、MW12局を順番に5秒ずつ放送します。

ステレオ/モノラル切替え(STEREO/MONO)
通常、ラジオの聴取はステレオ方式をお勧め致しますが、電波が弱い地域で受信状態が良くない場合は、モノラルに切換えると改善する場合があります。

遠距離受信/ローカル受信(DX/LOC)
ローカルラジオ局を聴取する場合は、ローカル受信を選択してください。電波状態が良い放送局のみを放送します。遠方のラジオ局を聴取する場合は、電波状態が良くない可能性がありますので、
遠距離受信方式を選択してください。リモコンのLO/DXキーで設定できます。